YAZAKI REPORT 千葉県議会議員 矢崎けんたろう

◆千葉県議会議員(浦安市選挙区) 矢崎けんたろう議会報告 Vol.15

復興計画に市町村の声を

液状化対策・一部損壊住宅支援・放射能対策

みなさまのご支援をいただき、千葉県議会に戻ることができました。改選後初の本会議となった先の議会では、一般質問に立ち、県の復興計画や、液状化対策、一部損壊住宅への支援、放射能対策などについて、質問を行いました。いずれも、市民の声を受けての質問です。また、森田知事の浦安復興に対する姿勢なども確認いたしました。以下抜粋でご報告します。

一般質問内容抜粋

県議会報告

◆◇◆復旧・復興計画について

国・市町村の間にある県の役割

東日本大震災後の応急的な復旧が落ち着き、これから千葉県再生のための本格的な復興が始まろうとしています。県では、森田知事直属の災害復旧・復興本部を設置し、今年度内をめどに「千葉県災害復旧・復興計画」の策定を進めています。

復興には、被災地の声を的確に捉え、盛り込んで行くと同時に、被災地のニーズにあった国の支援を引き出すことも重要。国、市町村の間で、県は重要な役割を担うことになります。

質問では、国との連携を深めて行くよう要望するとともに、被災者の声を吸い上げる仕組み作りについて、考えを聞きました。

「住民の意見を最も把握している被災市町村の、街づくりの考え方をうかがう必要があると考えている。現在、災害救助法適用市町を皮切りに意見交換を行っている」(森田知事)との答弁。現時点では、「液状化対策の具体的な情報提供」や「津波避難対策」などの声があがっているそうです。

被災地本位の計画となるよう、引き続き働きかけてまいります。

◆◇◆液状化対策について

求められる県の液状化対策指針

今回の震災では、浦安だけでなく県内各地で、液状化による大きな被害が発生しました。

ライフラインの耐震化や戸建の土壌の改良など、液状化対策について、県が包括的な指針などを示していれば、今回の被害は、多少なりとも防げたのではと考えています。

その点を指摘し、今後包括的な指針を示すことに関する考えを聞いたところ**「液状化の専門家などを委員とする『調査検討委員会』の提言などを踏まえ検討して行く」(防災危機管理監)**とのこと。今後、県はどのように液状化対策を進めるのか再質問したところ、**「県内約20箇所でボーリング調査を行い、その結果を基にした『調査検討委員会』からの助言や、国の『液状化対策技術検討会』の検討内容を踏まえ、液状化危険度マップの見直しや対策工法の検討を行う」(同)**ということです。

市民の要望として、住宅の復旧工事を行う住民向けに、適切な工法の出前相談会を被災地で開催することを求めました。

◆◇◆被災者支援について

一部損壊住宅にもなんらかの支援を。

こちらも、市民の声を受けての要望です。千葉県防災危機管理課の調べでは、県内の建物被害状況は、全壊746棟、半壊3566棟、一部損壊20561棟。全壊・半壊被害には、県も市も独自の支援策を発表していますが、最も多い「一部損壊」の被害に対する支援は、ほとんどありません。義援金の配分など、早急な支援を求めました。

◆◇◆放射能汚染について

汚染に対する行動指針が必要。

福島第一原発の被災により、放射能に対する不安が高まっています。私は市民の相談を受け、4月上旬に計測地点を増やすよう、担当課に相談しました。しかし、計測器の予算が計上されたのは、今議会。初動に問題があると指摘しました。また、計測するからには、放射能の濃度のレベルによる対策など、県民がとるべき行動の指針を示すべきだと、提言いたしました。

〈裏面につづく〉

民主 2011/夏

【Profile】町立見明川小、市立見明川中出身、県立市川東高校、駒沢大学を卒業後、富士(現みずほ)銀行に入社(16年勤務)。2007年4月千葉県議会に出馬し初当選。2011年5月再選(現在2期目)。東日本大震災復旧・復興対策特別委員会、総合企画水道常任委員会、議会運営委員会委員。

http://www.yazaki-kentaro.jp

真・剣・勝・負 矢崎けんたろう 【ご相談・ご意見】〒279-0022 浦安市今川4-2-2-1 Tel.047-720-0929 Fax.047-720-0939

一般質問
内容抜粋

つづき

◆◇◆知事の政治姿勢について

毎回、一般質問では、知事や当局に対して、この件名で質問を投げかけています。今回は、浦安復興に対する知事の姿勢や、再選挙となった県議会選挙、そして破綻したかずさアカデミアパークの教訓をどう活かすのか、考えを聞きました。

浦安に対する県の姿勢を確認

震災後、県議会議員選挙の執行をめぐり、森田知事と松崎市長の激しい応酬が、報道されました。「知事と市長は仲が悪いから、浦安の復興が遅れている」そんなことを口にされる市民も少なからずいらっしゃいます。

復興には、市・県・国の連携が必須であり、首長同士のわだかまりが、影響することがあってはなりません。そこで、単刀直入にぶつけました。「浦安市に対する県の支援が、他市町村の支援と差がつくことはないか」と。

また、森田知事は、4月12日に浦安を視察したとされています。当然ながら、視察は、見ることが目的ではありませんので、知事が被災状況をどう受け止め、どのような対処をしたのか、確認しました。

「浦安も含む16団体からの要請を受けて、県は、液状化被害への独自支援を設けた。今後も市町村とよく連携をとり、復興に取り組んで行く」(防災危機管理官)

「視察をして、何としても被災者のみなさんにできるかぎりのことをしなければと思った。しかし、災害支援制度には、液状化被害が対象に含まれておらず、すぐに枝野官房長官に直接会って、県が上限百万円の独自支援をしてがんばるから、国もなんとかしてほしいと強くお願いした。その結果、国の制度の拡充が実現した。しかし、まだ支援が不十分なので、今後も国に働きかけて行く」(森田知事)

これは、当局及び知事が、浦安をはじめとする液状化被災地への支援を行っていくことを、公式の場で明言することに意味があると考えてぶつけた質問です。「取り組み」や「働きかけ」がどうなったか、今後も確認してまいります。

市選管は選挙執行を市長に要請していた。

市が協力せず、再選挙となってしまった4月の県議会選挙について、経緯などを確認したところ、**「浦安市選挙管理委員会では、選挙を行うのが任務なので、ポスター掲示板が設置されなかったり、期日前投票が遅れても、法的に選挙が有効であることを調べ、告示後も、選挙を行うよう市長に決断を要請していく」**と県に説明していたことが判明しました。ということは、市の選管では、「選挙が可能」と認識していたということになります。

過ぎたことですが、市と選管が、歩み寄ることはできなかったのかと思います。今後、こういうことが起きないよう、再発防止策を求めました。

かずさアカデミアパーク破綻の教訓を他の外郭団体に活かせ

▲かずさアカデミアパーク

昨年1月、経営破たんをした県の第三セクター「株式会社かずさアカデミアパーク」の「民事再生に係る報告書」がまとめられ、6月20日に発表されました。

今回の総括を踏まえ、この教訓を今後のかずさアカデミアパーク事業や、他の外郭団体に活かしていかなければなりません。前々から提言している通り、昭和59年に策定された「かずさアカデミアパーク構想」をもっと早期に見直さなかった県の責任は重いと考えます。他の外郭団体も、「自立経営できない事業は、県民ニーズがない」くらいの意識で、見直して行くよう、要望してまいります。

【総合企画水道常任委員会質疑】

改選後の所属委員会は、総合企画水道常任委員会になりました。

一期目から取り組んでいる県の第三セクター東葉高速鉄道の所轄でもあり、また、今回の震災で多くの課題が見つかった水道整備に関しても検討を行う委員会です。

6月議会の質疑では、東葉高速鉄道について、22年度決算で、特別利益が2億3千万円の黒字になった経緯**(答・保育園を設置したため、国、市の補助金を計上したため)**や、今年度の決算見込み**(答・約2億8千万円の赤字見込み)**など、現状を確認。また、128億円の出資と12億円の利子補給あわせて、総額140億円を県から支援する「第二次支援」終了(平成28年)後、自立のできる見込み**(答・自治体の支援がなくてもやっていけると考えている)**や、しつこいようですが、前々から提言している民間人社長の登用の可能性**(答・時期尚早)**を再度聞きました。

平成33年時点での借入残高は、2471億円もあり、自立できるとする県のシナリオは、甘いと言わざるを得ません。

経営手腕のある民間トップのもと、大胆な経営改革が必要です。

＊　＊　＊

水道については、震災により、県水道局全体で17万8千戸が断・減水し、そのうち4割にあたる7万7千戸が、浦安市内の被害だったとのこと。次の震災に備えた水道管の液状化対策について、県の考えを聞きました。

「液状化の被害が大きかった浦安市でも、耐震化された主要管路に被害はなく、主要管路以外の枝管についても、耐震化を順次進めていくことが有効だと考えられる」(水道危機対策監)ということですので、ぜひ積極的に取り組んで欲しいと要望しました。

県議会に設置された「東日本大震災復旧・復興対策特別委員会」の委員になることができました。この委員会は、策定中の「千葉県災害復旧・復興計画」に対し、議会として提言を行うものです。

県政に
あなたの声を
矢崎けんたろう事務所
〒279-0022　浦安市今川4-2-2-1
Web http://yazaki-kentaro.jp
Mail info@yazaki-kentaro.jp
Tel 047-720-0929
Fax 047-720-0939

▲アドレスや電話番号を読み込めます。